

財団法人 日本サッカー協会
平成 20 年度 第 11 回理事会

協議事項

1. 殿堂委員会の件

2009～2011 財団法人日本サッカー協会 殿堂委員会

- 委員 川淵 三郎 (72) 名誉会長
委員 小倉 純二 (70) 副会長
委員 佐々木一樹 (57) 理事
委員 大住 良之 (57) フリージャーナリスト
委員 山本 浩 (55) 日本放送協会 解説委員室 副委員長
委員 国吉 好弘 (54) 週刊サッカーマガジン スーパーバイザー
委員 岡田 武夫 (54) 特命担当部長
委員 佐藤 仁司 (51) Jリーグ イレブンミリオンプロジェクト マネージャー
委員 名取 裕樹 (48) 共同通信社 運動部 副部長

幹事 小野沢 洋 (49) ミュージアム部長
() 内は年齢

尚、委員の任期は、2009年2月12日から2011年2月11日までの2年間。

(内規抜粋)

1. 殿堂委員会

理事会で11名以内の殿堂委員(任期2年)を選出し、殿堂委員会を組織する。
殿堂委員会は互選にて殿堂委員長を選出する。

尚、以下の前委員の方々には、アドバイザーとして1960年代以前の推薦掲額候補者の選定について要すればご意見を伺いたい。

岡野俊一郎、浅見俊雄、賀川浩、牛木素吉郎、中条一雄、金子勝彦(敬称略・順不同)

2. 評議員 交代の件

(財)北海道サッカー協会

現) 村井 将一 / (財)北海道サッカー協会 会長

新) 出口 明 / (財)北海道サッカー協会 副会長

3. J F A インターナショナル・コーチング・コース 2009 (A F C 加盟協会向け) の件

アジア貢献事業の一環として、下記の指導者養成コースを開催する。

コース名：(第4回) J F A インターナショナル・コーチング・コース 2009(A F C 加盟協会向け)

期 間：2009年3月9日(月)～15日(日)

会 場：Jヴィレッジ

講 師：ナショナルコーチングスタッフ、ナショナルトレセンコーチ

募集人数：25名(最大)

応募資格：・ A F C 加盟協会にて、育成・強化に携わり、英語が堪能な指導者
・各協会から最大2名が応募可能

費用負担：日本までの国際航空券代は、参加協会または参加者が負担する
日本国内移動費・宿泊費・食費は J F A が負担する

資格授与：期間中に行うテストに合格した人には、J F A 公認 C 級コーチライセンスを授与する

備 考：第1回は2006年3月13日～19日にJヴィレッジで開催し20名が参加

第2回は2007年3月12日～18日にJヴィレッジで開催し20名が参加

第3回は2008年4月19日～25日にJヴィレッジで開催し26名が参加

4. 大会名称変更の件

基本規程 第6章 競技 第1節 総則 第110条[競技会の主催] (5)

変更前：全国地域リーグ決勝大会

変更後：全国地域サッカーリーグ決勝大会

理 由：他種目大会とサッカーの大会であることを明確にするため、
全国社会人サッカー連盟から要望があった。

尚、基本規程の改正の為、理事会承認後、評議員会に諮ることになる。

5. 都道府県審判トレーニングセンターを活用した「3級審判インストラクター認定/更新講習会開催」の件

(協議)資料 1

審判トレーニングセンターは、審判員と審判指導者の技術向上のため、2007年から開催しているが、都道府県審判トレーニングセンターは全都道府県での開催には至っていない。

全都道府県での積極的開催のきっかけ作りと、3、4級審判員の審判技術向上を通じて都道府県サッカーの質をより良いものするため、JFAが1級審判インストラクターをこの審判トレーニングセンターに派遣し、3、4級審判員の指導にあたる3級審判インストラクターのための認定及び更新講習会を開催したい。

また、将来性ある審判員を発掘していきたい。

6. 2009年日本女子代表ナショナルコーチングスタッフ 追加の件

(協議)資料 2

[なでしこジャパン(日本女子代表)、U-19、U-16日本女子代表]

フィジカルコーチ：広瀬 統一(ひろせ のりかず) [早稲田大学]

監督、コーチについては前回理事会で承認済み。

7. 2009年ナショナルコーチングスタッフの件

(協議)資料 3

下線は新規。(クラブ名)があるものは、クラブを含めた3者契約。
プロフィールについては資料参照。

[日本代表 U-20日本代表(ロンドンオリンピック2012)を併せて担当する]

監督：岡田 武史

コーチ：大木 武、大熊 清、小倉 勉

GKコーチ：加藤 好男

[U-18日本代表(U-20ワールドカップ2011)/新チーム立上げ]

監督：布 啓一郎

コーチ：牧内 辰也

GKコーチ：川俣 則幸

[U-17日本代表(U-17ワールドカップ2009ナイジェリア)]

監督：池内 豊

コーチ：山橋 貴史

GKコーチ：柳楽 雅幸

[U-15 日本代表 (U-17 ワールドカップ 2011) / 新チーム立上げ]

監督：吉武 博文

コーチ：菊原 志郎 (東京ヴェルディ)

GKコーチ：大橋 昭好

8. 技術委員 追加の件

(協議) 資料 4

技術委員に、黛 俊行氏を追加したい。

黛 俊行 (まゆずみ としゆき) / 審判委員、JFA 審判トレセンダイレクター

9. 2009 年ユースディベロップメント体制〔男子〕の件

(協議) 資料 5

2009 年のユースディベロップメント体制〔男子〕について、添付資料の通りとしたい。

10. 平成 20 年度公認 S 級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため
下記 1 名を公認 S 級コーチと認定したい。

氏 名 : 藤川 孝幸 (ふじかわ たかゆき)

所属チーム : アビスパ福岡

生年月日 : 1962 年 10 月 10 日

資 格 : 2005 年 公認 A 級コーチ

指 導 歴	1996 年 ~ 1997 年	東京ヴェルディ	サテライト GK コーチ
	1998 年 ~ 2000 年	東京ヴェルディ	トップチーム GK コーチ
	2001 年 ~ 2004 年	ヴィッセル神戸	トップチーム GK コーチ
	2005 年	ベガルタ仙台	トップチーム GK コーチ
	2006 年	甲南大学	監督
	2007 年	セレッソ大阪	トップチームコーチ
	2007 年	静岡 FC	監督
	2008 年 ~	アビスパ福岡	トップチーム GK コーチ

参考 : 現 S 級コーチライセンス保持者数 : 282 名 (上記 1 名含む)

財団法人 日本サッカー協会
平成 20 年度 第 11 回理事会

協議事項（当日配付）

1. 強化・育成部門の体制変更の件

（協議）資料 6

今後の日本サッカーの更なる発展を見据えて、現状の技術委員会の組織・体制を下記の通り変更したい。

【現状】

技術委員長（強化・育成） 小野 剛

【本件後】

技術本部長 大仁 邦彌（副会長）

技術委員長（強化担当） 原 博実

技術委員長（育成担当） 小野 剛（理事）

強化と育成という異なる機能を切り分けることにより、夫々の分野に全力を投入出来る環境を創出するもの。

強化担当に関わる範囲、役割については、別紙資料の通り。

尚、本件により、新任技術委員長（強化担当）となる原 博実氏については、合わせて(財)日本サッカー協会の特任理事及び国際マッチメイク委員に就任する。